

幼児教育学科 1年 前期 総合科目

1. 地域つくりかえ学
2. 情報処理 I

幼児教育学科

科目名: 地域づくりかえ学			担当教員 氏名: 炭谷、中村、石津、藤井 他						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。						教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、「私」宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10.				
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。						
C 論理的思考力			【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	33 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	67 %
特記事項:「つくりかえレポート」と年間の「週フォリオ」を含めた様々な問題への取り組み状況によって評価する。各AD教員が、AD学生の評価にあたる。「つくりかえレポート」100点満点+「週フォリオ」100点満点評価+「自分つくりをすすめる意欲・態度」100点満点評価の合計を3で割った平均を評価点とする。 本科目は、アクティブラーニングの一環として、前期中にボランティア活動を各学生1回以上行い、後期の「富山コミュニティ論」にて活動発表を行う。また闘病記文庫感想文コンクールへの参加や演劇を通して、支援を必要とする方への共感性やコミュニケーション能力を養う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:「つくりかえレポート」は第7回に課す。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:適宜AD面談等を行い、返却する。									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容	学習に必要な時間(分)		
①【学科】建学の精神、5S活動、きとときとコミュニティ・サポーターとしての社会貢献				4月7日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
②【炭谷】教育目標「つくり、つくりかえつくる」と週フォリオ				4月14日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
③【中村】ボランティア活動で自分発見				4月21日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
④【特別講義】地域福祉について学ぶ				4月28日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑤【特別講義】子育て支援について学ぶ				5月12日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑥【特別講義】認知症サポーター養成研修				5月19日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑦【特別講義】在宅ケアにおける地域課題				5月26日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑧【学科】卒業生の「つくり、つくりかえ、つくる」に学ぶ 各学科・専攻にて実施 - 日程・詳細は後日掲示 -				月 日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑨【学科】アカデミック・スキルズ 大学での学び方 各学科・専攻にて実施 - 日程・詳細は後日掲示 -				月 日	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑩【特別講義】演劇を活用したコミュニケーション能力の向上①				7/14(水) 2グループに分かれて	【復習】学習振り返り、レポート	60分			
⑪【特別講義】演劇を活用したコミュニケーション能力の向上②					【復習】学習振り返り、レポート	60分			
使用テキスト:『これだけは知っておきたい わかる・話せる・使える 保育のマネーと言葉 改訂版』著者名:長島和代 編石丸るみ・亀崎美沙子・木内英実 わかば社 ISBN: 978-4-907270-05-6				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。									

幼児教育学科

1年

科目名: 情報処理 I				担当教員 氏名: 伊達 伸之輔		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進み、情報化スキルの必要性が高まっている。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をととして修得する。						コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、ワード、パワーポイント、エクセル
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8.	
A 知識・理解力			・コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windows10の基礎知識を学習する。			
D 問題解決力			・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」、表作成ソフト「Excel」の基本操作を修得する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験: 50 % その他: 50 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。また授業期間の中間と最後に実技試験を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。また複数回実施する実技試験については採点結果を伝える。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① コンピュータとネットワークの基礎知識の理解				インターネットについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
② 情報システムの基礎知識の理解				情報のセキュリティについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
③ Windows10の基礎知識と基本操作の理解				Windowsについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
④ Wordによる文書作成(基本的な文字入力)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑤ Wordによる文書作成(案内状などの作成)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑥ Wordによる文書作成(表作成)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑦ Wordによる文書作成技術を再確認する。				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑧ Excelによる表作成				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑨ Excelによるグラフ作成				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑩ Excelによる数式・関数の活用				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑪ Excelの基本操作を再確認する。				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑫ PowerPointによる資料作成(箇条書き機能など)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑬ PowerPointによる資料作成(図の作成)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑭ PowerPointによる資料作成(プレゼン資料の作成)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑮ Word、PowerPoint、Excelの基本操作を再確認する。				Word、PowerPoint、Excelの予復習をする	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 電子コンテンツの「できるWord2013」、「できるPowerPoint2013」、「できるExcel2016」(インプレスジャパン)				その他参考文献など: 情報リテラシー(noa出版) Officeソフトで作る文書ドリル全55題(noa出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習を行うこと。						